

子どもたちのために
通学路の安全対策を！



富永 悦子
議員

問 文部科学省が示す学校防災マニュアル作成の手引きでは、通学路にあるブロック塀や屋根瓦、自動販売機等の落下物や転倒物、隆起するマンホール等にも注意が必要とされている。通学路の安全性を改めて確認すべきではないか。

教育次長 通学路の安全性の確認については、各学校の実情に応じて教員による登下校の同行や横断歩道等での立哨などの安全指導を行う際、交通や防犯の視点から危険と思われる箇所の確認を行っている。

◆外国人住民への支援

問 日本に住む外国人はふえ続けており、働き手としてだけではなく地域社会でも暮らす一員として受け入れるための環境づくりが必要ではないか。

生活環境部長 生まれ育った文化や習慣等のさまざまな環境の違いから、ごみの出し方など生活上の課題が生じることもある。本市では6カ国語によるごみの分別表により積極的に情報提供を行うほか、公民館で国際理解講座を開催するなど地域住民の理解促進にも取り組んでいる。



▲6カ国語によるごみの分別表

公営企業の
経営基盤強化を！



大谷 弥生
議員

問 本市では、下水道事業の公営企業会計適用に向け取り組んでおり、今後は中長期的な視点に立った下水道ストックマネジメント計画や経営戦略の策定に取り組むべきと考えるがどうか。

上下水道部長 下水道ストックマネジメント計画等は、予防保全型の施設管理や経営基盤の強化につながり、持続可能な公共下水道事業の推進に寄与するため、引き続きそれぞれの策定に向けて取り組んでいく。



▲水処理センター（鶴木町）

◆学校現場における熱中症対策

問 市内公立小中学校において、エアコンが未設置の特別教室はどの程度あるのか。また、今後のエアコン設置に対する考えを聞きたい。

教育次長 特別教室が626教室あるうち、213教室がエアコン設置済みである。未設置の特別教室については、各教室の稼働状況を考慮するとともに国の状況を注視していきたい。

斎場整備に
民間活力の導入を！



西田 智男
議員

問 斎場建て替えの財源をどう考えているのか。PFIなど民間資本による運営も大変意義があると思うがどうか。

生活環境部長 策定を進めている斎場整備基本計画では、概算事業費の算出と並行し、PFI導入可能性調査を行い、民間活力の導入について検討する。財務面で見るとPFI方式は市の財政負担を平準化できるが、一方で受託事業者側には高い資金調達が求められることから、同調査の結果や他の大型公共事業の進捗状況を考慮し、慎重に検討していきたい。

◆中橋のかけ替え

問 本市の災害対策において、中橋のかけ替えは最優先課題であると考えが、国や県との協議ではどのようなことを議論しているのか。

都市建設部長 JR両毛線を越えるには道路が連続的な高架構造となることから、沿道の土地利用のあり方や周辺住民生活への影響などについて、国が中心となり詳細な検討を進めているほか、工事期間中の交通対策について想定される課題を整理し、検討を進めている。



▲洪水対策のために中橋脇に用意された土のう